



開店前の焼肉店を訪ねると『こんにちは。』と優しい声が聴こえた。声の主は、がっちりした筋肉質な体の堀内福成さんだった。

それもそのはず、福成さんは昨年までの12年半、競輪選手として活躍していたのだ。福成さんに現役時代の話を伺うと、「活躍している先輩達を見て競輪の道に進みましたが、ケガとの戦いでした。4年連続で骨折したりと、満足以練習も出来ない状態があったりで、応援して下さる人たちの期待に応えられないことが正直しんどかったです。」と話してくれた。福成さんが焼肉店のオーナーとして第二の人生を歩み始めた理由がわかったような気がした。

福成さんに、今の目標を尋ねると意外な答えが返ってきた。福成さん曰く「家族や地域の人達に自分は支えられて生きてき

錦江に生きる

From young people in the future

◎このコーナーでは、町内でこれから根を張っていくと頑張っている若者を中心に紹介していきます。第36回は、平石自治会の堀内福成さんです。

◎36人目

ほりうち ふくなり
堀内 福成さん 【平石自治会】



開店準備中の福成さん。手際良く、丁寧にテーブルを拭きあげていきます。

ました。だから、少しでも恩返しが出るように頑張りたいです。」と。てつきり規模拡大などの回答が返ってくると思っていたので、思わず商売の方は？と聞き返すと、「もちろん地盤を固めないといけないので一生懸命頑張ります！まずは肉の解体からですけど」と笑った。福成さんの実直な一面が見えた瞬間だった。少し気になったので、なぜ、

焼肉店にしたのですか？と興味本位で尋ねると、「実家が肉を取り扱っていて、肉の解体や調理も出来る父の下で修業をが出る焼肉にしました。結局、父に甘えてしまったのかもしれないが・・・。」と話した。福成さんの心には、いつも家族や周りの人たちに感謝の気持ちがあるようだった。

福成さんは、地域活動などに

も積極的に参加しており、ソフトボールやバレーなども頑張っている。「さすがに今は出来ませんけどね。地域活動は、隣が公民館だから行くしかないでしょ！」と茶目つ気たつぷりに笑った。

最後に一言お願いすると「両親や地域の人たちに大変感謝しています。現役時代からみんなに支えられて生きてきました。でも、まだ何も恩返しが出来ていない。だから、これから少しずつでも恩返し出来るように頑張ります。」とやはり感謝の気持ち話をした。続けて、嫁と三人の子供に。と前置きしたうえで「いつも苦勞をかけて申し訳ない。子ども達も寂しい想いをさせてごめんね。お父さんも一生懸命頑張るから、家族仲良く頑張っていこうね！」と福成さんらしいメッセージを口にした。そして「親父、お袋。いつも背中を押してくれてありがとう。秘伝のタレの作り方教えてもらえるように頑張るから！」と握りこぶしを作った。

福成さんは、いつも感謝の気持ち忘れられない心やさしい好青年だった。

編集後記

●そろそろ梅雨がやってきます。そして、嫌な台風・災害シーズンもやってきます。台風や災害等がないことが一番ですが、もしもの為に準備をしておきましょう。(本紙2・3ページに特集記事)

●プロ野球は交流戦が盛り上がりつつありますが、草野球もシーズン真っ盛り！昨シーズンの後半戦から連続試合ヒットを5に伸ばしていた私ですが今シーズンに入つて3試合ノーヒット。チーム内では私と銀行マンY君の同級生二人組だけになつてしまいました。

私が行けない次の試合、Y君が全部三振しますように・・・先日、ある本で「時間の有効な使い方・ムダな使い方」が書いてありました。確かに、それを読めば自分の時間の使い方は間違っているように感じました。が、しかし：人生においてムダな時間は必要ないのでしょうか。むしろムダな時間があるのでしょうか。有効に使うことはもちろん大切ですが、遊びの部分も必要なのでは？と感じました。皆さんはどう思いますか？



発行／錦江町役場

編集／企画課 〒893-2392 鹿児島県肝属郡錦江町城元963番地 tel.0994-22-3032 fax.0994-22-1951

■ホームページ／http://www.town.kinko.lg.jp/ ■印刷／(株)南大陽新生社印刷

